

# 第4次 飯田市立図書館サービス計画 概要版

中央図書館

## 1 計画策定の趣旨

飯田市立図書館では、「だれでも・どこでも・どんなことでも利用できる市民の図書館」として市民の皆さんの読書や研究活動を支援し、人間形成や自己確立の場であるとともに地域の情報拠点となることを目指して取組を行ってきました。第3次サービス計画期間終了に当たり、社会状況の変化や利用ニーズを見据えながら、図書館サービスの充実に向けて具体的な取組の方策を定めます。

## 2 計画の位置づけ

「いいだ未来デザイン 2028(飯田市総合計画)」、「第2次飯田市教育振興基本計画」を上位計画とし、これらの分野別計画として位置づけます。

## 3 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)までの4年間を計画期間とします。

## 4 飯田市立図書館サービス計画 これまでの成果と課題

第1次図書館サービス計画（平成19年度～23年度）の主な取組と成果 <ul style="list-style-type: none"><li>・南信州図書館ネットワークの構築による貸出利用の増加</li><li>・ビジネス支援サービスの開始による新たな利用者の増加</li></ul>
第2次図書館サービス計画（平成24年度～28年度）の主な取組と成果 <ul style="list-style-type: none"><li>・郷土新聞、雑誌等のデジタル化やデータベース化による閲覧数の増加</li><li>・関係機関（図書館分館、美術博物館、歴史研究所）との連携により蔵書の有効活用化</li><li>・市民との協働によるよむとす（読書活動推進）事業参加者の増加</li></ul>
第3次図書館サービス計画（平成29年度～令和2年度）の主な取組と成果 <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページによる郷土情報発信、貴重資料検索等学びのための利便性向上</li><li>・発達段階に応じた子どもの読書活動推進に向けて学校図書館との連携強化</li><li>・多様な主体と連携した新たな内容の講座、展示により参加者が拡大</li><li>・インターネット予約を活用した貸出の増加</li></ul>

### 課題

- ・資料や情報への要求は多様化、専門化してきました。読みたい本を得られる場所であるとともに、生活や仕事上の課題解決に役立つ情報を得るための蔵書の充実やサービスの向上が求められます。
- ・情報環境をはじめ、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。子どもが自発的に読書を行えるようにするためには、発達段階に沿って継続的に読書体験の充実を図る必要があります。
- ・高校生から40歳代までの図書館利用や、分館利用が減少しており、ニーズの把握と対応が必要です。
- ・郷土資料の利用の減少や地域の読書会の減少など、大切にしてきた地域の学びが減少してきました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市民生活が変化し図書館利用者も減少しています。

## 5 基本方針

生涯にわたって一人ひとりが読みたい本や知りたい情報を得て主体的に学び、自分や地域にとって大切なものを見つけ、実践することができるよう、次の3つの基本方針のもとに取り組みます。

◇一人ひとりの読書と学びを支えます。

◇読書を通じた交流やつながりを広げます。

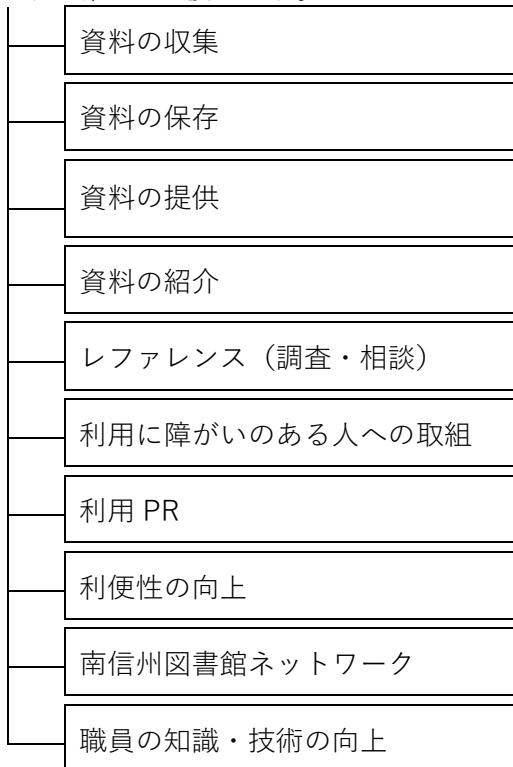
◇地域の歴史と文化の記録を蓄積し、現在から将来にわたって地域の学びに活かします。

## 6 具体的な取組

I

### 図書・資料・情報提供の充実

ライフステージや多様なニーズに応じた資料や情報を収集・提供し、市民の主体的な読書や課題解決を支援します。



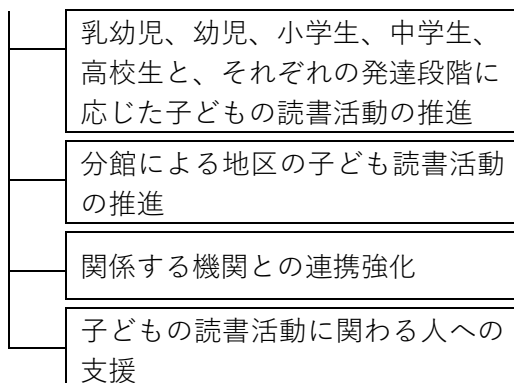
#### 【重点】

- 各館が分担して幅広い分野の資料を収集し、蔵書の充実を図ります。
- 飯田市全体の蔵書配置を検討し、分担保存を進めます。
- レファレンス事例を蓄積し活用する仕組みを作ることで、迅速かつ確実な対応を行います。

II

### 子どもの読書活動の推進

子どもたちが、読書の楽しさを体験し、知ること学ぶことの喜びを知り、自分で考える力、課題を解決する力を培うことができるよう、関係機関と連携し、発達段階に応じて継続的に読書活動の推進を行います。



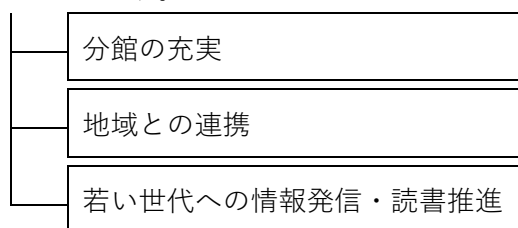
#### 【重点】

- 幼児が絵本や物語の楽しさを知る機会を充実させます。
  - ・4歳児（年中児）へセカンドブックをプレゼントします。
  - ・保育所等を通じて子育て家庭への絵本の貸出を実施し、家庭での読書習慣の定着を図ります。
- 学校図書館と協力して、小中学生の自発的な読書、調べる力の獲得に向けて取り組みます。

### III

## 身近に使える図書館の充実

市民誰もが身近な「わたしの図書館」をもち、いつでも気軽に本に親しみ、必要な情報を得られる環境を整えます。



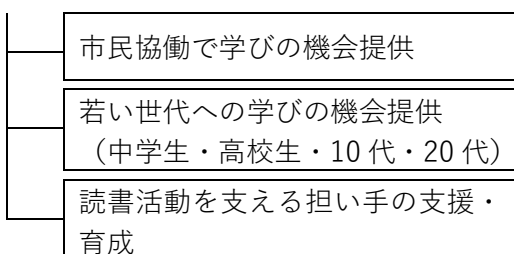
### 【重点】

- 地区の特色と、利用者層や利用の実態を把握して、分館の選書や事業に活かします。
- 高校生から 20 代の若い世代が、気軽に本に親しみ、情報を得られる場を作ります。

### IV

## 学びあいによる人と人とのつながり、読書や学びが広がる場づくり

市民や団体と協働して、学び合いにより人と人がつながり、交流する機会づくりに取り組みます。



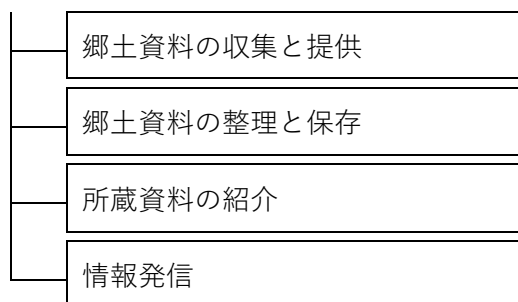
### 【重点】

- 読書会交流会等を行うことで、地域の読書活動を支援し、交流と学びを深められるよう取り組みます。

### V

## 地域の歴史と文化の記録の蓄積、提供

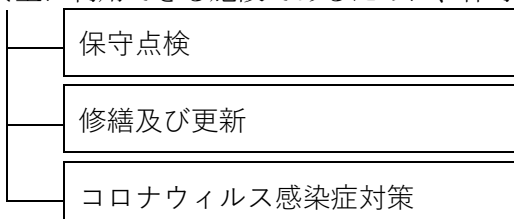
郷土資料を収集、保存、提供し、地域の価値を多くの市民が学び未来へつなぐことができるよう、利用の推進や情報発信を行います。



### VI

## 安全で安心して使える施設の整備

安全に利用できる施設であるために、保守点検と計画的な修繕を行います。



## 第4次飯田市立図書館サービス計画 取組別指標および目標値

取組	指標	現状 (R1)	目標値 (R6)	備考
1 図書・資料・情報提供を充実させます	貸出利用者数 (延べ人数) (人)	200,825	201,000	全館 (分館含む)
	予約数 (冊)	60,817	61,000	全館 (分館含む)
	レファレンス数 (件)	2,964	3,000	中央・鼎・上郷
2 子どもの読書活動を推進します	はじめまして絵本 絵本プレゼント受取割合 (%)	97.7	100	絵本を受け取った人数/ 対象者数
	絵本を家庭へ持ち帰っている保育所数 (園)	19	26	保育所への団体貸出や分館貸出、保育所の蔵書を通じて定期的に家庭へ本を持ち帰っている保育所数
	日常的に読書を行っている子どもの割合 ※ (%)	小学6年生 67.1 中学3年生 55.6	県平均 以上	全国学力・学習状況調査結果 R1 県平均 小学6年生 69.0 中学3年生 57.1
3 身近に使える図書館の充実を図ります	分館 住民一人当たりの貸出冊数 (冊)	1.8	1.9	分館 貸出冊数/地区人口
	16歳～29歳の貸出利用者数(延べ人数) (人)	10,038	10,500	中央・鼎・上郷
4 学び合いにより人と人がつながり、読書や学びが広がる場づくりに取り組みます	講座・企画等開催数 (件)	23	25	
	講座・企画等参加者数 (人)	1,241	1,300	
5 地域の歴史と文化の記録を蓄積し、提供します	郷土資料の情報発信数 (回)	145	150	館内外展示・リスト配布、HP本の紹介・図書リスト掲載、SNS
	郷土資料の貸出冊数 (冊)	6,770	6,800	

※全国学力・学習状況調査 設問「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書、漫画を除く)」に対し、回答10分以上～2時間以上の子どもの割合